

して良いとは言えません…)北部に比べて雨は少ない高雄ですが、突如として襲ってくるスコールには「バケツをひっくり返したような…」という表現がしっくりきます。台風も多いということです。7月に一度学校が閉鎖になりました。『停课：ていんか〜』という文字がテレビに映ると、すべての学校がお休みになるというシステムで、お休みの連絡網はまわしません。生徒たちは年に何度かあるこれを心待ちにしているとのこと。

日本統治という時代背景をもち、85歳以上の方は多くが日本語教育を受けている台湾。人々はとても親日的で親切です。買い物に行って日本語が通じることも珍しいことではないですし、町の看板などでも日本語の表記をよく目にします。時々びっくりするような日本語に出くわします。まあこれもまた今後小出しにしていきたいと思います。

当たり前ですが、どこに行っても人がたくさん…。人々の移動手段は、主にスクーター。みなさんご存知台湾メーカのビックスクーター KYMCO の中古 150CC を私も通勤手段として利用しています。スタイリッシュで精悍なビックボディに、ハイパワーエンジンを搭載し、あらゆるシーンにフィットするこのハイユティリティパートナーは4月に片言の英語で値切りまくって35,000NT\$で購入。その後修理に出すこと数知れず。一度は大きな橋の真ん中でエンスト。泣きながら鼻水垂らして押ししました〜。



↑街で見かけたカスタムバイク

さて、日本では点数が何点あっても足りないくらい交通ルールを守る意識がは緩いというか…。

最初は唾然としましたが、スクーター5人乗りのファミリー、信号無視をするタクシーにも慣れてくるから不思議なものです。先日は大きなラブラドルレトリバーが2匹、50ccのバイクの足元に乗っていました…。事故も多く、見学で訪れた医大にはロビーまでずらりと患者さんのベットがあふれかえって手や足に包帯ぐるぐる…。(その脇ではお弁当を食べているおばさんが…)さすがにお写真パチリというわけにはいかなかったのですが、患者さんの多くが交通事故だと…。私も気がつけます…。

勤務校の話題を少々…

高雄日本人学校は、小学部児童91名・中学部生徒26名の小規模校です。今年度私は中学部の1年生の担任を受け持っておりますが11名中、ご両親のどちらかが台湾人であるハーフの生徒が6名おります。中学部は現籍校である鹿追町立瓜幕中学校とほぼ同じ規模です。

小学部の児童の大きな歌声や笑い声がこだまするにぎやかな雰囲気は…新鮮!!とにかく明るく、何事にも積極的に取り組む児童・生徒が多いですね!

中学部生徒は日本と比べると部活動等の放課後の活動時間が少ないうえに、帰宅後に気軽に外出できるという環境ではないので、『学校で友人に会う』ことを楽しみに登校する生徒が多い印象を受けます。日本の中学生と比べると「親と過ごす時間」や「会話をしている時間」は一概には言えませんが、こちらの方が多岐がします。

高雄日本人の入学式で気づいたこと…それは女子の制服が…AKBの衣装みたいで「萌え〜!」なことです。いわゆる制服というものはな

